

事務事業名		不登校児童生徒支援事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		学校教育課		事業種別	政策	開始	終了		
H28係等名		学校教育課		H28係等名		学務係			
H27係等名		学務係							
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり					
		施策	22	義務教育の充実					
目的	対象(誰・何を)	学校に登校できなくなった児童生徒					指標名及び単位		27年度数値
	意図(どういう状態にするか)	学習の場の提供及び学校への復帰支援					不登校児童生徒数		102
	向上させたい上位施策の成果指標	不登校の児童生徒の数							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	適応指導教室へ通室できるようになった児童生徒数			7	7	7	-	
	成果指標	自校へ登校できるようになった児童生徒数(不登校のうち、指導の結果登校できるようになった児童生徒数)			30	19	20	-	
定性目標									
事業概要	<p>不登校または、学級に通えなくなった児童生徒の個別支援を行う。</p> <p>1 適応指導教室(中間教室)を設置し、適応指導員を配置して不登校児童・生徒の支援を行う。</p> <p>2 飯田長期欠席児童生徒支援ネットワーク協議会を設置し、関係機関と連携しながら不登校対策を実施する。</p> <p>3 児童生徒の自立を促す体験活動や教職員・保護者に向けたカウンセリングマインド研修を実施する。</p>								
27年度事業内容	事業内容				名称			活動指標	
	<p>1 (1) 追手町小学校、飯田東中学校に中間教室を設置し、適応指導員を配置</p> <p>(2) 中間教室における不登校児童生徒の支援</p> <p>2 学校と不登校対策を行うNPO等との連携による不登校児童生徒の状況把握</p> <p>3 体験活動による自立を促し自立を支援</p> <p>4 学校教職員、保護者向けカウンセリングマインド研修会の開催</p> <p>5 中学校区単位による情報共有化の推進</p> <p>6 飯田長期欠席児童生徒支援ネットワーク協議会の設置</p>				<p>1 (1) 中間教室設置数</p> <p>(2) 中間教室への通室者数</p> <p>2 小中連携分析校区数</p> <p>3 体験活動参加者</p> <p>4 開催回数</p> <p>5 連携推進校区</p> <p>6 協議会開催回数</p>			<p>1 (1) 2教室、各1人</p> <p>(2) 10人</p> <p>2 9区</p> <p>3 13人</p> <p>4 5回</p> <p>5 9区</p> <p>6 1回</p>	
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		5,068	5,869	4,725	4,917	(そ) 市外児童通級指導教室利用負担金			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他				86					
一般財源		5,068	5,869	4,639	4,917				
人件費計(千円)②		36		36					
正規職員所要時間		10		10					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		5,104	5,869	4,761	4,917				
事業内容・目標達成状況の振り返り	5つのアクション、教育支援指導主事の配置などにより、不登校児童生徒数の減少を図ることができた。								
改革改善の考え方	①問題点	家庭環境や発達障害、二次障害等複合的要因による困難事案が増えている。							
	②改革提案	飯田長期欠席児童生徒支援ネットワーク協議会などにより、関係機関の連携強化による支援の更なる充実を図る。また、特別支援教育を充実し、二次障害などの予防に努める。							